

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二選

- 我が家建て晴れの顔にて友は去る 空家寂しく仮設は暮れる 小谷 今吉マキ子
四方に伸ぶ紫式部の珠の実を風渡りきてほろほろ落とす 安永 守住 孝子
拝殿に一年ぶりの夜神楽 緋袴ゆらし幼の舞える 惣領 島田 廣子
亡き人の若き日の想い伝え聞き 八十路の胸に小波立ちぬ 安永 川野 光子
無造作にパン捨てられた回収日 戦後を生きた吾は悲しい 宮園 島 みつき
生まれ出で古稀を迎える歳と成り 人の情けを深く思えり 江津 高田美佐子
降る雨に負けることなく大輪の花を咲かせる 江津湖の花火 安永 山下たか子
家解かれ草ぼうぼうの向うには朱く大きな月昇り来る 宮園 金子フム子
満点の夜空を仰ぐ一時に我酔いしれて心ひろがる 小谷 今村 文子
青虫も我が窓這えば愛ほしいトンツートンと信号送る 惣領 小森英美子
眠れない夜のしじまに夫想う 叶わぬ望み眩いてみる 宮園 酒井 邦子

【お願い】 投稿は、一人一首でお願いします。

俳句

河野 全平 選

- 霧の朝落葉踏みしめ阿蘇登山 双の掌に包めば温し葛湯かな 石路の一群霜に輝けり
音もなく過疎の里山冬籠り 彼の人の面影抱き毛糸編む
細流の凍りて絶えし水の音 仮設去る我に手を振る枯尾花
崩れたる碑照らす後の月 鑑賞 時雨二題
うしろ姿の時雨れて行くか 浜までは海女も暮着る時雨かな

狂句

田上 富岳 選

- ハイカラが ダテではないよ趣味だから
ハイカラが 似合わん服着て歩きおる
ハイカラが 流行のものば着ておらす
ハイカラが 運動会にハイヒール
ハイカラが キンキラ金でさろぎよる
冷やかして 胸のトキメキおさえよる
冷やかして いつのまにやらできちゃった
冷やかして トラブル起こすのぼせもん
冷やかして 好きですなんて言ってみた
冷やかして 初心な二人のあかい顔

狂句次号の課題「ハハハ」「引き受けた」

益城の文化財 町文化財保護委員会



小 谷

阿蘇大神拝所 [高遊の御拝所]

阿蘇くまもと空港の南隣、「高遊原公園」内の南側の鳥居をくぐり、石畳を上ると左手に「阿蘇大神拝所」があります。高遊原台地は畑地がほとんどですが、この公園内一帯は標高が最も高い所で、杉や楠の大木のほか雑木林等も広がり、森閑としており、まさに鎮守の杜の様相を呈しています。

高遊原台地の一帯は、阿蘇の開発神で阿蘇神社の第一神である「建磐龍命」により開発されたと伝承されています。現在も津森地域には阿蘇の文化が色濃く残っていることから、津森保の開拓神・守護神には「建磐龍命」が祭祀されたという説があります。そのため、「阿蘇大神拝所」も阿蘇の神を拝むものとして設置されたのではないかと推察されます。また、高遊原台地には津森神宮の祭礼行事である「オホシマツリ」の由来説もあります。

「阿蘇大神拝所」の基礎部分の正面には「阿蘇大神」、側面には「御神木の松が枯れたため、神社庁の許